

「フットトーク2022 ～袋井市議会議員とまちづくりを語ろう～」

令和4年10月30日に、袋井市教育会館4階大会議室において、市民を対象とした議会報告会を開催しました。今回は、「市内コミュニティセンターとまちづくり協議会の活動に関して」「市内子育て環境の充実について」「市内産業の活性化に関して」の3つのテーマについて、3グループに分かれ、市民と議員による意見交換を行いました。

なお、各グループから出た主な意見は次のとおりです。

◎総務委員会（グループ1～3） 参加人数 議員：7人 市民：17人 テーマ：市内コミュニティセンターとまちづくり協議会の活動に関して

【市民よりいただいた意見（一部抜粋）】

（コミュニティセンター）

- 既存の事業と新規の事業を行うバランスが難しい。
- 地域住民への情報発信をより強化する必要がある。

（まちづくり協議会）

- 担い手の不足、人材の掘り起こしに課題を感じる。
- 自治会連合会組織との兼務のため、役職者は多忙である。



◎民生文教委員会（グループ4～6） 参加人数 議員：7人 市民：14人 テーマ：市内子育て環境の充実について

【市民よりいただいた意見（一部抜粋）】

（子育て全体）

- 子育てに関して、どこに相談していいのかわからない。また、気軽に相談できる仕組みやサポートが少ない。（支援センターの対応、オンライン相談、週末相談等）
- 学童保育の充実が求められる。民間参入の在り方も含めて、今後議論をすべきである。

（療育支援）

- 学校の教職員の療育に関する知識や経験が不足していると感じる。
- インクルーシブ教育への取り組みが少ないと感じる。



◎建設経済委員会（グループ7～9） 参加人数 議員：6人 市民：15人 テーマ：市内産業の活性化に関して

【市民よりいただいた意見（一部抜粋）】

（農業）

- 耕作放棄地が増えている。背景には、新規就農者の不足や、既存の作物に頼りすぎている面がある。
- 他の農産品やブランドとの差別化や情報発信が不足、稼げる農業モデルになっていない。

（他の産業）

- 全体的な袋井市の知名度やイメージアップのための戦略が足りないのではないか。
- ごみ減量などの環境へ配慮した産業の育成が必要である。

